

会長講話「スイスの鉄道」要旨

1. スイスの鉄道2015

1) 日本との対比

似ている点： 私鉄が多い、運行が正確、車両・駅がきれい、線路規格が貧弱
(日本と比べて)似ていない点：

直通が多い、接続がいい、頻度が高い、混雑がない、
乗客の立場で改善が進んでいる、特急列車などの追加料金不要

2) 多種多様な公共交通

一般の鉄道(4,900km)とポストバス Postbus(11,900km)が全国を網羅
登山電車、ケーブルカー、ロープウェイ、湖船も観光だけでなく実用的な乗り物
都市交通として定着している路面電車とバス、トロリーバスが停留所を共用

3) 公共交通を重視 利用者本位の政策

1982年からタクトファールプラン Taktfahrplan¹ 開始、今も進化中
現在もライゼゲペック Reisegepäck² を実施している

4) スイスでの新線建設

Taktfahrplan 向けの新線建設 都市での地下新ルート
国家プロジェクトとして長大トンネル建設

5) スイスの信号

日本で実現できないダイヤが実施できる

日本はルートシグナル スイスはスピードシグナル
(ただし、両者は接近しつつある)

日本では 無駄な時素 による遅れが非常に目立つ

スイスでは短い部分複線区間で双方が走りながらすれ違う例が見られる

ATP (日本の ATS や ATC に相当) は日本の民鉄が 世界の最先端

1 Taktfahrplan とは

- ・ 1980年代初めに行われた 鉄道近代化のやり方の革新

- ・ 基本原理：

多くの結節点での接続改善 直通化 短時間接続

一斉到着・一斉発車 ノード間所要時間の適正化

- ・ 線路では： 効果とコストで評価 短絡ルートが多数

- ・ 車両では： 車体傾斜制御車 ICN WAKO (Wankkompensation)

- ・ ダイヤでは： 等間隔ダイヤ(Integrated regular interval timetabling)

2 Reisegepäck とは

手荷物託送サービスのこと。朝、駅で預けると、夕方に目的駅で受取ることができる。かつては各国で実施されていた。

2 . スイス鉄道旅行

1) スイスレールパスSwiss Travel Pass

日本(ジャパンレールパスに比べて)通用範囲が広い

幹線・支線 鉄道 of 全て、実質的に全都市の都市交通、山岳鉄道の一部、湖船
観光専用の乗り物には追加料金又は割り引きで利用可

商品が多岐にわたる

利用日：連続 / 選択、1 等 / 2 等、

2) 楽で便利

Taktfahrplan を上手く利用すれば、列車の変更やダイヤの乱れも心配なし

Reisegepäck を上手く利用すれば、重い手荷物と一緒に移動せずに済む

3) 景勝路線案内と見所

SBB (連邦鉄道)だと

Thalwil - Zug - Arth-Goldau - Flüelen - Gultnellen - [Gotthard Tunnel] - Biasca

BLS (Bern Lötschberg Simplon)だと

Thun - Kandersteg - [Lötschberg Tunnel] - Goppenstein - Brig

他にも、「スイス絶景ルートの旅」も参考に

4) 山岳鉄道のこと

粘着式山岳鉄道 RhB は全線粘着式

Alubla 線と Bernina 線は(箱根登山鉄道の姉妹鉄道)は世界遺産

ラックレール鉄道 BRB は蒸機運転 PB は世界最急 (480 ‰)など種類多数

ケーブルカー 都市交通にも多数

ロープウェイ 極めて多種 近年も進歩中 スイスのメーカーがほぼ世界を独占

(参考)便利な Swiss Travel System 関連 URL等

• Travel System の路線図

www.fahrplanfelder.ch/fileadmin/fap_explanations/pdf-Dateien/kb1.pdf

• 抜群によい接続 Taktfahrplan 最新の図 (注：以下の二つは同一。既に 2016 年版が公開されているので、アクセスする際は 2015 の部分を 2016 に読み換えのこと)

<http://www.sma-partner.ch/images/Downloads/NGCH-2015.pdf>

www.fahrplanfelder.ch/fileadmin/fap_pdf/Netzgrafik/Netzgrafik2015.pdf

• 便利な時刻表 <http://www.sbb.ch/en/>

• 鉄道ファン向けの列車ダイヤ・線路図等

www.fahrplanfelder.ch/fileadmin/fap_pdf_graphic_tt/GBOB.pdf

• 手荷物輸送も充実 どこでいつ扱うかを事前に確認して(Baggage Switzerland)

• 「時刻表に見るスイスの鉄道 こんなに違う日本とスイス」

(大内 雅博著 交通新聞社新書 005)